

## 神経変性疾患研究室

### A. 論文

#### ②著書

A-② ; Yasumasa Y: Tau-Directed Therapies for Alzheimer' s Disease and Other Tauopathies. Frontiers in Clinical Drug Research. Alzheimer Disorders, Vol. 1, 2013, 147-182 ed. by Atta-ur-Rahman.

#### ③総説

A-③ ; Yoshiyama Y, Lee VM, Trojanowski JQ : Therapeutic strategies for tau mediated neurodegeneration. J Neurol Neurosurg Psychiatry 2013;84:784-95.

### B. 学会発表

#### ①国際学会

B-① ; Sagiri Isose, Sonoko Misawa, Shigeki Ohmori, Kazumoto Shibuya, Yukari Sekiguchi, Saiko Nasu, Minako Beppu, Satsuki Mitsuma, Yuta Iwai, Satoshi Kuwabara: PATHOPHYSIOLOGY OF NEUROPATHIC PAIN IN POEMS SYNDROME: STUDY OF PAIN-RELATED EVOKED POTENTIALS. Biennial Meeting of the Peripheral Nerve Society. June 29-July 3, 2013. Saint.Malo, France

B-① ; S. KOGA; Y. YOSHIYAMA: Leptin resistance induced by high calorie diet enhances tau pathology and glial activation in a tauopathy mouse model. Neuroscience 2013. 12th Nov 2013. San Diego.

#### ②国内学会

B-② ; 能重歩、磯瀬沙希里、伊藤喜美子、吉山容正、新井公人 : Codon180 点変異を伴う家族性プリオン病の臨床・画像経過  
第 54 回日本神経学会学術大会 2013/5/29-6/1 東京

B-② ; 吉山容正: メタボリックシンドロームのタウ病理増強作用 : レプチンのグリア細胞に対する影響  
第 54 回日本神経学会学術大会 2013/5/29-6/1 東京

B-② ; 柏戸孝一、吉山容正:アルツハイマー病患者に対するメマンチン投与と併用薬の検討 第 54 回日本神経学会学術大会 2013/5/29-6/1 東京

B-② ; 小出瑞穂、磯瀬沙希里、伊藤喜美子、吉山容正、新井公人 : 過去 3 年間のプリオン病入院例の臨床的検討 第 1280 回千葉医学会例会 2013/12/7 千葉

B-② ; 村山紀子、木村厚子、平野成樹、吉山容正、柏戸孝一、島田斉、白石哲也、藤田伸輔、伊豫雅臣、桑原聡:新規開設認知症疾患医療センターの医療相談における現状と課題  
第 14 回日本認知症ケア学会大会 2013/6/1-6/2 福岡

B-② ; 磯瀬沙希里、三澤園子、大森茂樹、澁谷和幹、関口縁、那須彩子、別府美奈子、三津間さつき、岩井雄太、桑原聡:POEMS 症候群における疼痛発生の機序:表皮内小径線維刺激による誘発電位からの検討  
第 54 回日本神経学会学術大会 2013/5/29-6/1 東京

B-② ; 磯瀬沙希里、三澤園子、大森茂樹、澁谷和幹、関口縁、別府美奈子、三津間さつき、岩井雄太、桑原聡:POEMS 症候群における神経障害性疼痛:疼痛関連誘発電位検査による検討  
第 43 回日本臨床神経生理学会学術大会 2013/11/7-9 高知

B-② ; 男澤聡子、加藤麻美、打矢千彩子、中村和代、吉山容正、伊藤喜美子、磯瀬沙希里、能重歩、新井公人 : 胃瘻造設を強く否定した筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者の認識の変化とその心理背景—臨床心理士の介入—  
第 67 回国立病院総合医学会 2013/11/8-9

### C. 講演会・研究会

C ; 吉山容正 : 認知症治療の最新の動向と使い分け. メディセオ茂原支店保険薬局セミナー 2013/4/24 茂原

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム CHIBA Memory Alzheimer Disease Conference 2013/5/13 千葉

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム AD カンファレンス in Kamogawa 2013/5/14 鴨川

C ; 吉山容正 : 認知症治療の動向と服薬指導について  
岩渕薬品茂原営業所認知症保険薬局セミナー 2013/5/17 茂原

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム  
船橋認知症治療カンファレンス 2013/5/20 船橋

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム  
市川認知症治療勉強会 2013/6/7 市川

C ; 吉山容正 : アルツハイマー型認知症について最新の話  
薬剤師の先生に向けた認知症勉強会 2013/6/13 成田

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム  
茂原市長生郡認知症研究会 2013/6/25 茂原

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム  
千葉市認知症カンファレンス 2013/6/26 千葉

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム  
第 1 回市川市医師会認知症を考える会 2013/8/26 市川

C ; 吉山容正 : 認知症治療の動向と服薬指導について  
調剤薬局認知症セミナー 2013/9/4 八千代

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めた AD 治療のアルゴリズム AD カンファレンス  
認知症疾患連携の会 2013/9/9 千葉

C ; 吉山容正 : 認知症の診断と治療の Topics 船橋認知症を学ぶ会 2013  
2013/9/25 船橋

C ; 吉山容正 : 認知症の基本的な知識とその対応  
千葉市認知症カンファレンス 2013/10/3 千葉

C ; 吉山容正 : なぜアルツハイマー病の新規治療薬開発はうまくいかないのか  
第 12 回岡山認知症研究会 2013/10/18 岡山

C ; 吉山容正 : なぜアルツハイマー病の新規治療薬開発はうまくいかないのか  
第12回中国地区GHP研究会 2013/10/19 広島

C ; 吉山容正 : 認知症とは?ならないために、なってしまったら  
四街道市民公開講座 2013/10/26 四街道

C ; 吉山容正 : 認知症の薬物治療: 薬剤の特徴と使い方  
保険薬局薬剤師認知症セミナー 2013/11/21日 千葉

C ; 吉山容正 : 認知症の薬物治療: 薬剤の特徴と使い方  
顔が見える連携の会 2013/11/25 千葉

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めたAD治療のアルゴリズム  
習志野地区認知症勉強会 2013/2/6 習志野

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めたAD治療のアルゴリズム  
認知症治療勉強会 2013/2/28 札幌

C ; 吉山容正 : 認知症サポーターに伝えたいこと 認知症を理解する  
市原市キャラバンメイト養成研修 2013/3/15 市原

C ; 吉山容正 : 新規治療薬を含めたAD治療のアルゴリズム  
鎌ヶ谷認知症カンファランス 2013/3/20 鎌ヶ谷

C ; 加藤麻美 : 病院心理臨床 (2) チーム医療における心理専門職の役割への模  
索、跡見学園女子大学 「医療看護の心理学」 2013/6/10 東京

C ; 中村和代、竹節弥生、渡邊弥生、加藤麻美、男澤聡子、斉藤由香、  
打矢千彩子 : 難病患者を支援する地域支援スタッフとの連携 第5回関東信越  
ブロック 神経・筋疾患ネットワーク研究会 2013/6/28 長野

## E. 国立病院機構ネットワーク研究

E ; 「パーキンソン病の精神症状の経時変化に関する検討とQOL向上への提言」

## F. その他

研究会等座長：

第 54 回日本神経学会学術大会 座長 2013/5/29 東京

第 104 回日本神経病理学会関東地方会 座長 2013/7/20 日 東京

第 1280 回千葉医学会例会 座長 2013/12/7 千葉

国立病院機構政策ネットワーク研究：

「パーキンソン病の精神症状の経時変化に関する検討と QOL 向上への提言」

厚労省運動失調班：

「マチャド・ジョセフ病、脊髄小脳失調症 6 型の自然史に関する多施設共同研究」

「多系統萎縮症 (MSA) についての多施設共同大規模遺伝子解析研究」

J-ADNI2：

千葉大学と「神経筋疾患における電気生理学的検査の有用性に関する多施設共同観察研究」

「筋萎縮性側索硬化症の病変進展に関する観察研究」

東京医科歯科大学と「プリオン病の自然歴に関する全国調査研究」

慶応義塾大学と「神経疾患患者からの iPS 細胞の樹立とそれを用いた疾患解析に関する研究」

鳥取大学と「パーキンソン症候群の生体試料収集とその収集・保存体制整備に関する研究」

信州大学と「剖検脳標本を用いた神経軸索スフェロイドを伴うびまん性白質脳症の病態解明」

磯瀬先生が Harvard Medical School の Global Clinical Scholars Research Training Program に参加しました。